

1月9日(火)

汝の敵を愛せよ

聖書朗読 マタイ 5:43~48

もし、あなたの兄弟が罪を犯したなら、行って、ふたりだけのところで責めなさい。もし聞き入れたら、あなたは兄弟を得たのです。 マタイ 18:15

あなたは、今、誰かがあなたに向ける怒りによって苦しんでいますか？ いらだって眠れていないのかもしれませんが。カウンセリングも解決にはならないでしょう。祈りは何の効果もなく、苦悩を解決する手立てはないように思えます。

今日の聖書の箇所では、イエス様は、そうしたときに成すべきことを語られています。その方法は、単純で真の解決のために最も確実なものです。衝突が制御不能になる前に、解決させるのに役立つ。あなたは、誰かの言動で怒ったことはありますか？ そうした時に成すべきこととして、イエス様は以下のように述べられています。まず、それを言った相手のところに行って、あなたが感じたことを述べなさい。例えば、「あなたはおそらく意図してはいたと思いますが、私は傷つきました」というようなことです。大抵の場合には相手は謝り、発言や行いを改めます。

メッセージ、電話、メール等、他者への不満にあふれていますが、当事者に直接あてたものではありません。このことは問題を大きくします。私たちは、まず、相手のところに行って話をしなくてはなりません。マタイ18章には、私たちに対して罪を犯した相手に対してどのように対処すべきか、ということについて、述べられています。これはイエス様が求められていることなのです。

他者に傷つけられた全ての場合において、私たちは、相手のために祈ります。今日も神は、私たちが神を見上げて付き従うことができるようにと祝福を与えてください。イエス様は、そのための力と知恵と平和とを私たちに与えてください。

讃美歌 365

祈り 愛する父なる神様。どうか、今日も、あなた様の助言と忠告に従う力を与えてください。あなた様の尊き御名と慈愛を讃美することをやめることがないように、お導きください。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

ロバート・ブレイアー

アイオワ州 クレグホーン

1月10日(水)

選 択

聖書朗読 マタイ 6:19~24

しかし神は彼に言われた。『愚か者。おまえのたましいは、今夜おまえから取り去られる。そうしたら、おまえが用意した物はいったいだれのものになるのか。』自分のためにたくわえても、神の前に富まない者はこのとおりです。』

ルカ 12:20~21

イエス様は、私たちの心をこの世のやり方とは全く違う方法で満たしてください。この世には、貯蓄に助言を与える優秀な人間が数多くいますが、イエス様は、私たちに、遥かにすばらしい導きを与えてくださるのです。

イエス様は、この世の人生、そして、その後にくる遥かに大きな恵み、その二つの壮大な光景を私たちに与えてくださいます。イエス様は、この二つを俯瞰することなしに、この世だけの富に執着する愚かさを語っておられます。この世の富は、空しく容易に奪われます。

イエス様は、自分の宝を、朽ちることのない、盗まれることのない天にたくわえなさいと仰いました。そして、その見返りはこの地上で得るいかなるものよりもはるかに素晴らしいものなのです。私たちはどのようにすれば良いのでしょうか？ 私たちが分かち合うべきことは、唯一、神様に望みを置き、お金ではなく、神様が喜ぶ方法で、私たちの富を天にたくわえましょう、ということなのです。そこは、いずれ私たちがたどり着く場所であり、私たちが待っているのです。それは確実なことなのです。そのことを固く信じましょう。

私たちは選択できます。イエス様は、「あなたがたは、神にも仕え、また富にも仕えるということはできません」と言われました。どちらか一方なのです。両方ということはありえません(マタイ19:21~22, ルカ12:32~34, Iテモテ6:17~19)。富は、それ自体は中立ですが、容易に、私たちに虜とします。この世の富への執着と神への献身、その両方が相容れることは決してありません。私たちは選択しなくてはなりません。

讃美歌 338

祈り 愛する神様。あなた様を最も高きに置いて、ただ、あなた様のみにお仕えすることができますように、私たちの心が、常にあなた様と共にあって、富をたくわえるべきところにありますように。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

デイビット・ギブソン

テキサス州 コマース

1月11日 (木)

さばくことなかれ

聖書朗読 マタイ 7:1~5

さばいてはいけません。さばかれたいからです。

マタイ 7:1

誰かに対して承服しかねるときに、意見を述べようか、あるいは、非難しようかと迷ったことはありませんか？ 私にはあります。そして、それを言ったら、相手と私にはどのような結果をもたらすだろうかと考えます。意見を言うということと、相手を非難するという事は紙一重です。『あなたがたは、人を量る量りで、自分も量り返してもらいからです。』(ルカ6:38)。この聖句を忘れてはなりません。私は、もし、この厳しい言葉が私に対して発せられたのなら、私の傷ついた心はどれほど苦しめられるだろうかと考えます。厳しく配慮のない非難は、その後に関係するかもしれない相手との全ての会話や配慮の可能性を閉ざしてしまいます。

もちろん、イエス様は、よきさばきについても教えておられます。神様ならどのようにご覧になったかを考えて、自身のことも相手のことも見るようにしなさい。口に出す前に、静止して、自らの考えをよく吟味しなさいと教えられています。厳しい言葉を発する前に、よく吟味して、相手との繋がりを断ち切らないように、神様を愛し仕える道を選びなさい。

讃美歌 260

祈り 愛する神様。さばきになりかねない意見を言う前に、相手を思いやることができますように。私たち全てに、あなた様にお仕えし、顧みを与えられる機会がありますから、どうか、私たちが、あわれみ深く、違いを受け入れることができますように。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

スー・ランサム

1月12日 (金)

子どものように尋ねなさい

聖書朗読 マタイ 7:7~11

求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます。だれであれ、求める者は受け、捜す者は見つけ出し、たたく者には開かれます。 マタイ 7:7~8

私は時々、8歳と11歳になる孫たちの子守をして一晩を過ごすことがあります。夕食を共にし、公園に行き、ボードゲームと一緒にし、楽しい時間を一緒に過ごします。毎回、孫たちは必ず質問をします。それも実にたくさんなのです。

「外に食べに行くの?」、「寝なさいいけないの?」、「新しいおもちゃを買ってくれないの?」、「どうしてそんなに年をとっているの?」といったようなものです(最後の質問は好きではありません)。

子どもは誰かに尋ねなくてはいけないのです。生来の好奇心がそうさせるのです。そして、私たちは子どもに尋ねられることを期待しています。

私たち全ての師であるイエス様は、今日の聖書の箇所を私たち大人に与え、子どものような好奇心を、私たちの求めるものを神様の御前に素直にさらけ出すことを覚えさせてくださいました。神様に直接、尋ねることを教えてくださったのです。親が子どもの求めるものに答えるように、神様も私たちにお答えになってくださるのです。そのことを改めて覚えさせてくださいました。

私たちは、求めに対する神様のお答えに全き信頼をおくことができます。神様のお答えは、必ずしも私たちの求めるものと完全に同じではありませんが、それは、私たちがその時に願った求めをはるかに超えるものが与えられたことが後になってわかるのです。それこそがまさに、愛なる神様なのです。

讃美歌 502

祈り 全地の造り主たる父なる神様。私の求めと、私の心と体が欲しているものをご存知であるあなたさまに全き信頼をおくことができますように、慈愛に満ちたもうあなた様のお答えに付き従うことができますようにお祈り申し上げます

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

ヴァージル・フレイ

テキサス州 ヒューストン

1月13日 (土)

賢い人と愚かな人

聖書朗読 マタイ 7:24~27

だから、わたしのこれらのことばを聞いてそれを行う者はみな、岩の上に自分の家を建てた賢い人に比べることができます。 マタイ 7:24

私たちは、韓国での17年間の宣教活動の間、住まいとなる住宅を借りて生活していました。何軒かは他ものよりも良いもので、韓国の伝統的な床暖房はとても良かったです。一軒は特に思い出に残っています。限られた土地を有効に活用しようとして、家主は、丘の斜面に家を建てたのです。斜面側には窓はひとつもありませんでした。私たちの庭は車庫の上であり、私たちの住まいの屋根の上は、大家さんの庭になっていました。「雨季になると、時々、斜面から出血するんだよ」と言われました。この意味を考えましたが、まあ、何とかなるだろうと思い、家を借りました。

豪雨の時以外は、快適でした。しかし、豪雨の時は、まさに、「出血」そのもので水が噴水のようにあふれ出て地下室に流れ込みました。水をかき出すのに36時間以上もかかりました。その家は、雨水の排水路の上に建てられており、後になって、取り壊さざるを得なくなりました。賢い人は岩の上に自分の家を建て、愚かな人は、砂の上に自分の家を建てた、イエス様の語られたたとえ話を思い出さずにはいられません。

賢い人とは、イエス様の御言葉に耳を傾け、実践する人のことであり、愚かな人とは、移ろう砂に過ぎないこの地上のものごととに囚われる人のことです。あなた自身の家(あなた自身の人生)を動くことのない堅い岩の上に建てなさい。

讃美歌 280

祈り 愛する神様。あなた様の御子を地上にお送りくださり、私たちにいかに生きるべきかを教えてくださいと感謝申し上げます。どうか、私たちが御言葉に聞き、あなた様の御姿に倣うものとなさしてくださいように。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

ジョイス・ハーディン
テキサス州 オースティン

1月14日(日)

預けることのできない安全

聖書朗読 マタイ 6:25~34

あなたがたには、あすのことはわからないのです。あなたがたのいのちは、いったいどのようなものですか。あなたがたは、しばらくの間現れて、それから消えてしまう霧にすぎません。 ヤコブ 4:14

人生は計画で満ちています。私たちは保険商品を購入して、起こる可能性がほとんどなくとも、想像しうるすべての悲劇から自身を守ろうとします。個人年金や確定拠出年金を積み立てて、毎年社会保障報告を確認して、順調にしていることを確認します。クリニックの医師や歯科医師は、可能性がある問題を事前に回避すべく、定期検診を受けるように勧めます。こうしたことは、慎重で賢明なことですが、彼らは、人生は安全ではないとも言うのです。本質的には、それらは私たちが安全を求めていることの裏返しなのです。

ヤコブは、今日の聖書の箇所『あなたがたには、あすのことはわからないのです。』と言っています。実際のところ、人生における安全は幻と同じぐらい不確かなものです。人生には目に見える時間の物差しはありません。後40年の人生があるかもしれませんし、たった40秒しかないのかもしれません。ですから、自身の将来の安全を計画しても、実際には、明日のことについて何らの保証もなく、それは自身の力でどうにかできるものではありません。ですから、わたしたちは、ただ、委ね信じることを選ぶべきです。慈愛の御手のうちに私たちの人生の歩みを守ってくださる主に感謝しましょう。

讃美歌 338

祈り 愛する神様。私の意図する人生の計画ではなく、あなた様だけに全き信頼を置くことができますように、私たちを諭し導いてください。たとえ、私が明日、この地上を去り、あなた様のもとに召されるとしても、どうか、今日という日、あなた様をしっかりと見上げ、あなた様に仕えることができますように。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

ケリー・ウィリアムズ
ミシガン州 ウォーターフォード